

事業概要

- 路線名 : 主要地方道青森浪岡線 (高田バイパス)
- 事業区間 : 青森市大字荒川地内～青森市大字高田地内
- 事業延長 : L=5,689m (うちスカイブリッジL=587.5m)
[平成17年11月21日開通 L=4,889m]
- 幅員 : [平地]全幅W=18.5m、車道部W=9.5m
[橋梁部]全幅W=11.5m、車道部W=9.5m
[山間部]全幅W=14.5m、車道部W=9.5m
- 縦断勾配 : 4.5%以下
- 曲線半径 : Rmin=420m

- 事業年度 : 平成8年度～平成18年度 (予定)
- 事業費 : 約137億円 (うちスカイブリッジ約33億円)
- 事業進捗 : 平成8年度 事業着手 路線測量
平成9年度 地質調査、設計、用地買収着手
平成10年度 工事着手
平成17年度 L=4,889m供用 (11月21日)
平成18年度 事業完了予定



青森県土整備事務所

〒030-0943 青森市大字幸畑字唐崎76-4
TEL017-728-0200 FAX017-728-0355

主要地方道青森浪岡線 高田バイパス

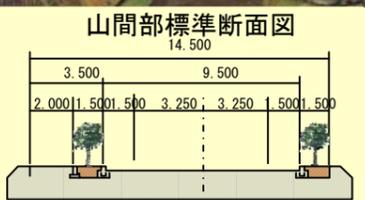
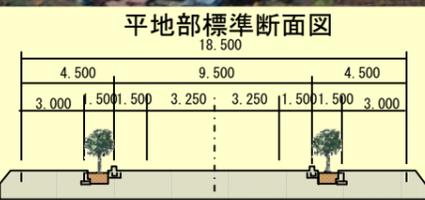


安全・安心・ゆとりのアプローチ



設計条件

道路規格	第3種第2級
設計速度	V=60km/h
計画交通量	T=7,700台/日
上部工形式	6径間連続鋼桁+3径間連続鋼桁+3径間連続鋼桁
下部工形式	逆T式橋台2基、張り出し式橋脚11基
基礎工形式	場所打ち杭 φ1200[オールケーシング工法]
支間長[1連目]	45.850+4@43.400+42.900
支間長[2連目]	64.300+84.000+64.300
支間長[3連目]	36.140+36.670+36.140
斜角	θ=90°
平面線形	R=∞~1,300m
縦断勾配	4%
横断勾配	2%拌み勾配~2%片勾配
幅員	11.500m [2.000+1.500+3.250+3.250+1.500]
舗装厚	車道70mm 歩道30mm
交差する主な施設	西滝川 Q=25.0m ³ /sec 農道 W=6.0m(現況) 青森環状野内線 W=16.0m(計画) 整備新幹線 W=13.0m(計画) 市道 W=7.0m(現況)



位置図



主要地方道青森浪岡線

県都青森市と津軽地方を連絡する本路線は、青森空港への唯一のアクセス道路として重要な役割を担っていますが、高田地区には集落区間の道路狭隘箇所、丘陵部の急勾配箇所等がありアクセス機能の向上が課題となっております。

このため、青森県では平成8年度より青森浪岡線道路改築事業として事業着手し、景観や自然環境に十分配慮しながらゲートウェイ空間の整備を推進して参りました。

今回、スカイブリッジを含むバイパス区間L=4,889mが開通いたします。

さらに便利に



青森空港立体駐車場完成イメージ

青森空港

国内線5路線、国際線2路線が就航する第3種空港(昭和39年県設置・管理)で、平成17年4月には滑走路3,000mが供用開始されました。

現在、冬期間の駐車場不足の解消や利便性向上のため、青森浪岡線交通連携推進事業として、立体駐車場の整備が進められています。

現道の状況

現道部は急カーブ・急勾配が続き、渋滞交差点が1箇所、県内に23箇所存在する事故危険箇所のうちの2箇所が集中するなど、隘路区間となっています。

さらに冬期間は、歩道や路肩(堆雪余裕幅)の幅員が狭小となるため、安全な道路機能の確保が課題となっていました。



縦断勾配9% 事故危険箇所2箇所



歩道・路肩(堆雪幅)狭小

- 区間延長 : 5,800m
- 最小幅員 : 6.0m
- 最小曲線半径 : 35m
- 最急縦断勾配 : 9%
- 事故危険箇所 : 2箇所
- 渋滞交差点 : 1箇所



渋滞交差点1箇所

開通後

1. 定時性・確実性の向上

青森空港へのアクセス時間短縮や定時性の向上、現道部の渋滞緩和などにより、ゆとりをもった移動ができます。

5~10分短縮



急勾配・急カーブ箇所、人家連坦部、渋滞交差点の迂回や信号交差点が3箇所減ることなどにより、定時性が高まり目的地までゆとりを持ってあずましく移動できます。

写真レイアウト
白神山地 丸山遺跡
尻屋崎 十和田湖

2. 安全・安心の確保

安全な勾配や線形、冬期間の堆雪幅確保、橋梁部のロードヒーティング等により、道路利用者の安全が通年で確保されます。



スカイブリッジ前後にはロードヒーティングを774m、高盛土区間には防雪柵、高切土区間には雪前防土柵を設置するなど、万全の冬期対策を行っています。

青森空港に隣接する防災航空センターでは避難者の救急活動等を行っており、冬期間等で病院近隣のヘリパッドが使用できない際や、県外病院への患者の搬送時には、空港と病院間の搬送が行われています。

整備効果

3. 観光・産業の振興

青森空港から津軽方面と南部方面へ連絡する2つの高速道路まで概ね10分で連絡、物流・人流のさらなる活性化が期待されます。



4. 医療活動への支援

防災航空センターを経由した救急搬送など、救急医療活動において、スピーディーかつスムーズな移動経路が確保されます。

